

0M小 Y先生のあたりまえ

その① 「思いっきり！造形遊びは楽しいな」

題材「しんぶんして あそぼう」（2年）

新聞紙のよさや面白さを身体全体を駆使して感じたり、見つけたりしながら、表現することをたのしむ造形遊びの題材である。導入には、あえて教科書の画像などは見せずに、材料（ねじる、ちぎる、丸める等してみせる）とめあてを提示した。子どもたちはそれだけで十分で、新聞紙でできそうなことを次々と発想し、友だちと共有し合ったり、身体全体で感じたりしながら思いっきり楽しんでいった。子どもたち一人一人の発想や工夫をしっかりと受け止め、認め、声をかけていくことを大切にしていきたい。



その② 「試しながら、関わりながら考えるって… 楽しいな！」

題材「ぼかしあそびで」「えのぐじま はっけん！」など（2年）

クレヨンやパスで「ぼかし模様」を試しながら自分のイメージをもち、思いついたことを表していく題材である。そして絵の具でできた形や色から想像し、体全体を使って絵に表す題材である。「ぼかし模様」をつくることで、自分が思っていないような効果が表れてくる上、型紙を使うとさらにおもしろくなり、発想が広がり、試しながら表したいことを見つけることができていた。「えのぐじま」では絵の具で描く心地よさを実感する題材である。グループのみんなとおしゃべりしているうちに、なかなか想像できない子どももいつの間にかイメージを膨らませることができていた。



制作途中では、こちらが友だちの作品を見るように指示しなくても、自然と対話が生まれていた。表したいことを子ども自身が見つけ出す過程を見守り、励ますことを大事にしている。

その③ 「みつめる…振り返りと鑑賞」

どの題材でも、完成したら全員で見せ合う場と時間を設定する。

図工振り返りカードを活用し、自分の頑張りや友だちのよさを見つけ発表し合う。自分との表し方の違いを認め合うことで、見方や感じ方を広げたり、深めたりすることができる。小さな認め合いの積み重ねが、次のつくり出すことの喜びや楽しさにつながっていくだろう。みんな大好き図工の時間。オアシスのような図工の時間を目指して。

